

北海道農業・農村の概要

[令和3年9月 北海道農政部]

北海道農政部より発表されている「北海道農業・農村の概要」の令和3年9月更新分の概要を紹介します。

北海道農業の地位・特徴

●北海道においては、全国の約4分の1の耕地面積を生かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした生産性の高い農業を展開。

●令和元年の農業産出額は、1兆2,558億円で、全国の14.0%を占める。

●令和元年の北海道の食料自給率は216%(概算値)であり、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮。また、北海道の農業・農村は食品加工業や観光業など幅広い産業と結びつき、地域経済の活性化等に大きく貢献。

●北海道の1農業経営体当たり耕地面積は、都府県の約14倍にあたる30.2ヘクタール、販売農家に占める主業農家の割合は71.7%と、大規模で専門的な経営を展開。

●北海道は、気象条件や立地条件などの違いから、それぞれの地域において特色ある農業を展開。

北海道農業・農村の動向

●耕地面積は近年横ばいで推移しており、令和2年は114万3,000ヘクタール。

●認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進展し、令和元年度末(令和2年3月)の集積率は91.5%。

●経営規模拡大や頻発・激甚化する異常気象に対応するため、ほ場の大区画化(水田)、起伏修正や排水整備(畑地・草地)などの生産基盤の整備を実施し、農地の生産機能を向上。

●農家戸数は年々減少しており、令和2年の販売農家数は約3万2,200戸。また、農業労働力の高齢化も進行。

●令和元年の農家子弟を含めた新規就農者の総数は454人と前年より減少。なお、農外からの新規参入者は、平成27年以降120人程度で推移。

●認定農業者は、平成5年の制度創設以来、着実に増加していたが、近年は離農や法人化の進展に伴い減少傾向にあり、令和2年3月末で、2万8,978経営体。

北海道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,143.0	4,372.0	26.1	R2
農業経営体数	千経営体数	34.9	1,075.6	3.2	R2
販売農家	千戸	32.2	1,027.7	3.1	R2
農業産出額	億円	12,558	89,387	14.0	R元
食料自給率	%	216	38(37)	—	R元

*資料:農林水産省「農林業センサス」ほか
注:農業産出額の全国の数値は都道府県合計
食料自給率はカロリーベースで、全国(B)の()はR2の数値

北海道と都府県の農家の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
1農業経営体当たり経営耕地面積	ha	30.2	2.2	13.7	R2
1戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	140.6	62.4	2.3	R2
基幹的農業従事者65歳未満割合	%	59.5	28.8	2.1	R2
主業農家率	%	71.7	20.8	3.4	R2

*資料:農林水産省「農林業センサス」ほか
注:基幹的農業従事者…農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している
主業農家…農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満がいる農家

北海道農業の地域別特色

区分	特色
道央	稲作を中心に、野菜、軽種馬、肉用牛などの多様な農業
道南	稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業
道東(十勝・オホーツク)	大規模で機械化された麦、豆、ばれいしょなどの畑作や酪農畜産
道東(釧路・根室)、道北	冷涼な気候を活かした、EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農

注:道央(空知、石狩、胆振、日高、上川、留萌)、道南(後志、渡島、檜山)、道北(宗谷)

耕地面積等の推移(単位:千ha、%)

区分	H17	H22	H27	H30	R元	R2
耕地面積	1,169	1,156	1,147	1,145	1,144	1,143
田	228	225	223	222	222	222
普通畑	412	414	415	417	417	418
牧草地	525	514	506	502	502	501
担い手への利用集積率	79.4	87.5	87.5	91.0	91.5	—

*資料:農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ
注:担い手は認定農業者及び市町村基本構想の水準到達者

水田、畑地・草地の基盤整備状況の推移(単位:%)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
水田整備率(1ha以上)	11.6	12.6	13.6	14.7	16.2
畑地・草地排水整備率	61.5	61.9	62.2	62.4	62.7

*資料:農林水産省「農業基盤情報基礎調査」による道推計値

●農地所有適格法人は年々増加しており、令和2年1月1日現在、3,716経営体。

※「農地所有適格法人」は、平成28年4月の農地法の改正に伴い、「農業生産法人」から名称変更

●農外企業等の農業への参入は、農地を所有する農地所有適格法人の設立などにより年々増加し、令和元年で217経営体。(農地を所有する農地所有適格法人:217経営体、農地を賃借する一般法人:93経営体)

●農業産出額では、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛の全国に占める割合が高く、そのうち麦類、豆類、乳用牛は全国の約5割を占める。

※参考 生産量全国1位の品目(令和元年) 小麦、ソバ、大豆、小豆、ばれいしょ、てん菜、インゲン、タマネギ、生乳 など

●令和元年の1経営体当たりの農業粗収益は4,048万円。総所得は645万円。農業所得率は16.0%。

●令和元年の経営部門別の農業所得は、水田作、畑作、酪農のいずれも前年より減少。所得率についても、全部門において前年より減少。

●クリーン農業の推進成果であるYES!clean登録集団数は、令和元年度で257集団と減少傾向。作付面積も17,424ヘクタールと減少。

●道内各地において、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す、6次産業化の取り組みなどを展開。農業生産関連事業体数は、令和元年現在で3,020件。販売額は1,522億円。

YES!clean登録集団の推移(単位:集団数、ha)

区分	H27	H28	H29	H30	R元
実集団数	334	321	276	263	257
作付面積	17,141	17,600	18,390	17,734	17,424

*資料:北海道クリーン農業推進協議会調べ

農業生産関連事業体数及び販売額(単位:件、億円)

区分	H27	H28	H29	H30	R元
事業体数	3,440	3,390	3,470	3,470	3,020
販売額	1,506	1,517	1,553	1,548	1,522

*資料:農林水産省「6次産業化総合調査」

農家戸数、農業就業人口等の推移[販売農家](単位:戸、人、%)

区分	H17	H22	H27	H30	R元	R2
農家戸数	51,990	44,050	38,086	35,800	35,100	32,232
農業経営体-個人経営体 基幹的農業従事者 65歳以上比率	(34.1)	(34.4)	(36.0)	(38.5)	(41.2)	40.5

*資料:農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」
注:農家戸数はすべて販売農家
()は、農業就業人口における65歳以上率

新規就農者数の推移(単位:人)

区分	H17	H22	H27	H29	H30	R元
新規学卒就農者	331	302	189	193	187	151
Uターン就農者	267	337	274	251	225	191
新規参入者	55	61	126	125	117	112
計	653	700	589	569	529	454

*資料:北海道農政部調べ

認定農業者数、農地所有適格法人数の推移(単位:人、経営体)

区分	H17	H22	H27	H30	R元	R2
認定農業者	25,551	32,823	31,286	30,146	29,741	28,978
農地所有適格法人数	2,182	2,642	3,045	3,472	3,605	3,716

*資料:北海道農政部調べ

農外企業等の農業への参入状況の推移(単位:経営体)

区分	H17	H22	H29	H30	R元
農地を所有する農地所有適格法人	65	119	206	211	217
農地を賃借する一般法人	—	30	92	90	93

*資料:北海道農政部調べ

農業産出額の構成(R元)(単位:億円、%)

区分	北海道	構成比	都道府県合計	構成比	道/合計	順位
農業産出額	12,558	100.0	89,387	100.0	14.0	1
耕種	5,207	41.5	56,513	63.2	9.2	1
米	1,254	10.0	17,484	19.6	7.2	2
麦類	368	2.9	653	0.7	56.4	1
雑穀	—	—	—	—	—	1
豆類	421	3.4	773	0.9	54.5	1
いも類	542	4.3	2,007	2.2	27.0	1
野菜	1,951	15.5	21,515	24.1	9.1	1
果実	71	0.6	8,399	9.4	0.8	29
花き	128	1.0	3,264	3.7	3.9	8
その他	472	3.8	2,417	2.7	19.5	1
畜産	7,350	58.5	32,344	36.2	22.7	1
肉用牛	1,049	8.4	7,482	8.4	14.0	2
乳用牛	5,006	39.9	9,353	10.5	53.5	1
豚	455	3.6	6,122	6.8	7.4	3
鶏	327	2.6	8,647	9.7	3.8	8

*資料:農林水産省「生産農業所得統計」

農業経済の動向(1経営体当たり)(単位:千円、%)

区分	H17	H22	H27	H29	H30	R元
農業粗収益	18,167	22,926	28,978	34,524	35,035	40,476
総所得	5,150	6,026	8,507	11,187	9,507	6,454
農業所得率	28.3	26.3	29.4	32.4	27.1	16.0

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」
注:H17~30は個別経営体。R元は全農業経営体。

経営部門別の農業所得(所得率)(単位:千円、%)

区分	水田作	畑作	酪農
H29	7,615(39.4)	13,639(36.2)	25,025(27.7)
H30	5,454(32.6)	12,080(33.0)	20,488(21.8)
R元	2,815(17.4)	11,431(22.6)	19,440(14.8)

*資料:農林水産省「農業経営統計調査」
注:H29、30は個別経営体。R元は全農業経営体。

※この情報は北海道のオープンデータを改変し、利用しています。